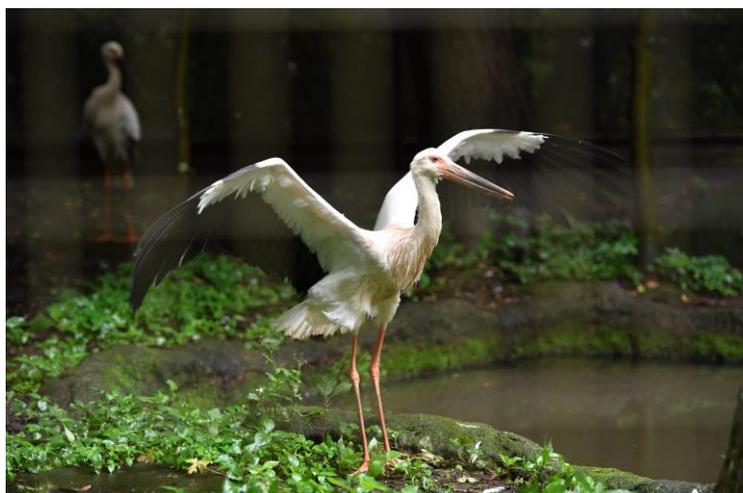


兵庫県立コウノトリの郷公園へ

コウノトリの カズラ

が出園します



▲出園する個体（愛称：カズラ）

12月10日（火）、よこはま動物園ズーラシアで飼育しているコウノトリの「カズラ」（メス）が、国内の繁殖計画にもとづき、兵庫県立コウノトリの郷公園へ出園します。

新天地で良いペアを見つけることを期待しています。

●カズラについて

カズラは、平成31年4月8日にズーラシアで生まれました。ズーラシアでコウノトリのヒナの姿をご覧いただけたのは13年ぶりでした。巣立ちまでの間、大きな声で鳴き、両親にエサをねだっていましたが、飛ぶための羽が生えそろい、クチバシの色も黒くなってきた6月17日に巣立ちを迎えました。巣立ち後しばらくして、自らエサを採れるようになってからは、両親とともに3羽そろって採餌していました。お気に入りの場所は園路から一番近い擬木で、展示場前を通る人々の目を引き、人気を集めていました。

当日の取材について

※動物の搬出当日の取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。



よこはま動物園

ズーラシア



公益財団法人横浜市緑の協会

Yokohama Greenery Foundation

指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園

副園長 渡辺 武志

045-959-1298

【参考資料】

■ 個体情報

- ・今回出園する個体

カズラ	平成 31 年 4 月 8 日 よこはま動物園ズーラシア生まれ
-----	---------------------------------

- ・両親

ポイキアナ・ハシオ (父親)	平成 19 年 4 月 18 日 豊橋総合動植物公園生まれ 平成 30 年 2 月 20 日 東京都多摩動物公園より入園
キコニア・タマコ (母親)	平成 15 年 3 月 11 日 東京都多摩動物公園生まれ 平成 30 年 2 月 20 日 同園より入園

■ コウノトリについて

和名	コウノトリ
英名	Oriental White Stork
学名	<i>Ciconia boyciana</i>
分類	コウノトリ目 コウノトリ科
分布	ロシアアムール川流域、中国南東部
生態	ヨーロッパなどで繁殖する朱色の嘴をしたシュバシコウの亜種とされていましたが、大きさや性質などかなりの違いがあることから、現在では、別種として扱われています。シベリア南東部と中国東北部で繁殖し、冬季には中国南東部に渡って越冬します。日本でも 1959 年頃までは繁殖していましたが、現在では冬鳥としてまれに 1 羽から数羽が渡来するにすぎません。1956 年に国の特別天然記念物に指定されて、2005 年には兵庫県立コウノトリの郷公園において、飼育下で繁殖した個体の野生復帰を目指す試験放鳥が開始され、順調に生息数は増加しています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I： 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN)： ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
当園飼育頭数	5 羽 (オス 2 羽、メス 3 羽) ※今回移動する個体を含む
国内飼育頭数	17 園館 197 羽 (オス 95 羽、メス 93 羽、不明 9 羽) ※令和元年 8 月 15 日現在

■ よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート (18 歳以上) 2,000 円
- ◆開園時間：9:30~16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆休園日：毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園。翌日休園)、12/29~1/1
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

年末年始の開園について

年内は、12 月 28 日 (土) まで開園します。
年始は、1 月 2 日 (木) 9 時 30 分から通常通り開園します。
お正月も動物園へお出かけください。